

加入者の声を聞きました

収入保険は、自然災害による収量減少に加え、市場価格の低下なども含めた農業収入の減少を総合的に補てんする制度です。今回は、加入者の株式会社たなかふぁーむ 代表取締役 北中 良幸さんの声を紹介します。

野洲市市三宅

株式会社たなかふぁーむ

代表取締役

北中 良幸さん(40歳)

【経営規模】

キュウリ 2・7畝(ハウス42棟)、
米 4・8畝、麦 2・3畝、大豆 1・7畝、
コマツナ、ホウレンソウ 1・3畝 ほか



Q 経営内容を教えてください

2015年1月に設立し、正社員9人、パート23人でキュウリを中心に、米、麦、大豆などを栽培し、大阪府や兵庫県に出荷しています。

また、地元野菜の産地地消推進のために直売所「すまいる市」を運営しています。学生や新規就農希望者の現場体験・研



修、外国人研修生の受け入れを積極的に行い、近年は農福連携にも力を入れています。

Q 収入が落ち込んだことはありますか？

平成29年10月の台風で、ハウス約20棟に被害を受け、収入が大幅に減少しました。時期的な問題でキュウリの植え替えができず、これを機にコマツナとホウレンソウの栽培を始めました。

また、ハウスの修繕は業者に依頼しましたが、多額の費用と時間がかかりました。この経験から、ビニールを分割して張り、自分たちで修繕できる体制を取っています。

Q 今後の営農で不安なことは？

自然災害だけでなく、風評被害も怖いですね。予想もできず避けられないことなので、備えが重要だと思います。

また、従業員の生活を守る責任があり、安心して働いてもらえる環境が大切だと考えています。

Q 収入保険の魅力を感じる部分は？

品目を限定せず、収入減少を補てんしてくれる手厚い補償が魅力です。今まで野菜に対する十分な補償がなかったため、野菜メインの農家にはありがたい保険です。

Q 収入保険を選んだ理由は？

手厚い補償があることでリスク管理が疎かになるのではないかと不安がありました。社内で何度も話し合った結果、今後モリスク管理を強化し、風評被害など自分たちでは避けられない部分や想定できない部分に対する補償として加入することに決めました。

収入保険の加入者には、無利子のつなぎ融資があります

収入保険の補てん金の支払いは保険期間終了後になりますが、保険期間中であっても、自然災害や価格低下等により、補てん金の受け取りが見込まれる場合、NOSAI全国連から無利子のつなぎ融資を受けることができます。